

事務事業チェックシート

事務事業No 事業名
442 高付加価値推進事業

分野別目標	3	市民と地域がつくる元気なまち
政策	1	地域産業の振興
施策	2	商工業の振興
基本方針	1	地場産業の振興

事業種別	継続	主な事務事業	○
事業期間	～		
事業実施の根拠法令			
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	商工振興課	小嶋 義之(435-1233)	
関連課			

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		商工費	
	項		商工費	
	目		通商産業振興費	
	大事業		通商産業振興事業	
事項		高付加価値推進事業		

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
	○			
44の約束	わかやまブランド育成事業、商品開発、販路開拓支援、人材育成			

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
	各種見本市、展示会等に参加し、本市主要物産品の優秀性のPR及び販路拡張に努め、地域産業の活性化を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統的工芸品産業振興協会関係負担金 賛助会費 伝統工芸品月間事業負担金 伝統的工芸品展WAZA出展負担金 ・伝統的工芸品産業振興協会主催「伝統的工芸品展WAZA」へ紀州箆笥出展 ・和歌山家具組合連合会との共催により和歌山優良家具見本市を近鉄百貨店で開催 ・紀州桐箆笥協同組合が行う需要開拓、新製品開発等の事業に対し、補助金を交付 				
実施内容		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		・和歌山家具組合連合会との共催により和歌山優良家具見本市を開催	・和歌山家具組合連合会との共催により和歌山優良家具見本市を開催	・和歌山家具組合連合会との共催により和歌山優良家具見本市を開催	・和歌山家具組合連合会との共催により和歌山優良家具見本市を開催	・和歌山家具組合連合会との共催により和歌山優良家具見本市を開催
		・紀州桐箆笥協同組合が行う需要開拓、新製品開発等の事業に対し、補助金を交付	・紀州桐箆笥協同組合が行う需要開拓、新製品開発等の事業に対し、補助金を交付	・紀州桐箆笥協同組合が行う需要開拓、新製品開発等の事業に対し、補助金を交付	・紀州桐箆笥協同組合が行う需要開拓、新製品開発等の事業に対し、補助金を交付	・紀州桐箆笥協同組合が行う需要開拓、新製品開発等の事業に対し、補助金を交付
		・一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会賛助会費及び協会が行う需要開拓事業に対し、経費の一部を負担	・一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会賛助会費及び協会が行う需要開拓事業に対し、経費の一部を負担	・一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会賛助会費及び協会が行う需要開拓事業に対し、経費の一部を負担	・一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会賛助会費及び協会が行う需要開拓事業に対し、経費の一部を負担	・一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会賛助会費及び協会が行う需要開拓事業に対し、経費の一部を負担
		・伝統的工芸品月間国民会議全国大会事業の一部を負担				

2 事業コスト

事業費等 千円		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	計画	決算
	事業費	2,635	2,344	1,489	1,429	1,425		1,425		1,425	
	伸び率 (%)	-	-	-43.5%		-4.3%		0.0%		0.0%	
	人件費	常勤職員	5,453	3,343	2,695	3,325	3,325		3,325		3,325
		非常勤職員									
	小計	5,453	3,343	2,695	3,325	3,325		3,325		3,325	
	国庫支出金										
	県支出金										
	市債										
その他											
一般財源(税等)	2,635	2,344	1,489	1,429	1,425		1,425		1,425		
所要人数	常勤職員	0.73	0.44	0.36	0.45	0.45		0.45		0.45	
	非常勤職員										
主な予算内訳		委託料216千円、会場その他借上料232千円、負担金補助及び交付金840千円等									

3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況				平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	各種展示会開催・出展数				年度目標値	3	3	4	4	5
					実績値	3	4			
	単位	事業	全体目標値	5	全体目標達成度	80.0%	年度別達成度	100.0%	133.3%	
					年度目標値					
					実績値					
成果指標	製造品出荷額等(工業統計調査)				年度目標値	13,500	13,800	14,100	14,400	14,730
					実績値	14,998				
	単位	億円	全体目標値	14,730	全体目標達成度	111.1%	年度別達成度			
					年度目標値					
					実績値					
	単位		全体目標値		全体目標達成度		年度別達成度			

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	各種展示会や見本市に出展することで、県内外の消費者やバイヤーに当市地場産品の優秀性をPRすることができた。今後も継続して開催し、引き続き付加価値を高めていく必要がある。
「見直し」 「改善」案	引き続き付加価値を高めていくため、特に県外の展示会への出展を促し、当市地場産品をPRし販路拡張に努めていく。